



潟上市章

かたがみ
Katagami

市議会だより

第30号



プレ秋田デスティネーションキャンペーン
「SLあきた路号」快走（大久保駅構内）

9月定例会

H24(2012)11.01

平成24年(2012年)
11月1日発行

- 9月定例会 …………… 2～4
- 議会報告会 …………… 5～7
- 一般質問 …………… 8～13
9氏が市の方針をただす
- 委員会報告 …………… 14～16
- 行政視察研修報告 …………… 17
- 議会基本条例策定の状況報告 …… 18
- 賛否一覧 …………… 18

平成23年度
一般会計
決算

歳入合計 153億7,994万4,063円
 歳出合計 147億1,154万 648円
 歳入歳出差引額 6億6,840万3,415円
 実質収支 6億 510万7,415円

※平成24年度に繰り越した事業に使う財源を差し引いた額

◆歳入

歳入総額は15,379,944千円ですが、その主なものです。
 (単位：千円)

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額
市 税	2,443,675	2,429,935	13,740
地方交付税	6,654,377	6,166,751	487,626
国庫支出金	1,994,087	1,946,445	47,642
県 支 出 金	767,100	797,525	△ 30,425
繰 越 金	851,572	542,226	309,346
市 債	1,551,700	1,779,300	△ 227,600
歳入合計	15,379,944	14,897,381	482,563

◆歳出

歳出総額は14,711,541千円ですが、その主なものです。
 (単位：千円)

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額
人 件 費	2,908,331	2,343,103	565,228
扶 助 費	2,364,888	2,522,627	△ 157,739
公 債 費	1,753,633	1,746,105	7,528
投資的経費	2,183,717	1,936,501	247,216
歳出合計	14,711,541	14,045,809	665,732

平成23年度
特別会計
決算

歳入合計 84億9,631万4,208円
 歳出合計 80億6,577万2,698円
 歳入歳出差引額 4億3,054万1,510円

(単位：円)

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引 額
国民健康保険事業	3,973,105,479	3,656,593,103	316,512,376
後期高齢者医療	246,357,257	244,664,538	1,692,719
介護保険事業	2,871,838,765	2,820,669,693	51,169,072
農業集落排水事業	163,136,616	157,618,487	5,518,129
下水道事業	1,228,300,706	1,176,754,398	51,546,308
合併処理浄化槽事業	6,370,594	6,023,012	347,582
豊川財産区	3,333,552	1,060,060	2,273,492
下虻川財産区	1,684,349	974,500	709,849
和田妹川財産区	1,082,248	603,500	478,748
飯塚区財産区	1,104,642	811,407	293,235
計	8,496,314,208	8,065,772,698	430,541,510

水道事業会計決算書

収益的収入…5億6,948万7,852円
 収益的支出…4億7,265万4,679円
 資本的収入…3億3,691万3,417円
 資本的支出…6億1,147万1,171円

◆財政指数の推移

普通会計における主な財政指数の推移は、次の表のとおりです。

財政指数	年度	平成22年度	平成23年度	比較
① 実質収支比率 (%)		6.9	6.3	△ 0.6
② 財政力指数		0.35	0.33	△ 0.02
③ 経常収支比率 (%)		89.2	89.1	△ 0.1
④ 実質公債費比率 (%)		14.4	12.8	△ 1.6

●●● 2012 ●●●
9月定例会

9月5日～21日

平成23年度 各会計

決算を認定

平成24年度
 各会計補正予算

◆ 9月定例会に計上された補正予算の主なもの

(単位：千円)

項 目	補 正 額
議会基本条例策定特別委員会	1,094
旧豊川小学校解体工事	69,825
新庁舎建設基本設計市民委員会	314
各種個別予防接種委託料	12,264
ごみ処理委託料（秋田市へ）	33,000
し尿等搬入処理負担金（男鹿市へ）	3,500
天王温泉くらはら修繕料	3,752
住宅リフォーム補助金	15,000
農漁業生産施設復旧支援事業費補助金	2,500

◆ 補正後の各会計の予算額

(単位：千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計	115,070	14,117,499
国民健康保険事業特別会計	6,695	3,726,875
後期高齢者医療特別会計	1,360	270,152
介護保険事業特別会計	22,640	2,972,786
農業集落排水事業特別会計	1,144	165,396
下水道事業特別会計	1,590	1,160,982

積立金の状況

(単位：千円)

基金名	H22末 現在高	H23末 現在高	増減
財政調整基金	1,047,649	1,383,521	335,872
減債基金	44	45	1
小学校建築基金	20,846	20,857	11
宿泊施設運営振興基金	16,355	7,733	△ 8,622
地域福祉基金	9,558	9,561	3
ふるさと創生基金	6,718	6,721	3
ふるさと水と土保全基金	7,586	7,589	3
市役所庁舎建設基金	1,000,000	1,100,000	100,000
観光振興基金	536	537	1
スポーツ振興基金	1,046	1,047	1
ふるさと応援基金	5,936	6,584	648
住民生活に光をそそぐ基金	30,000	14,535	△ 15,465
合計	2,146,274	2,558,730	412,456

市債残高

(単位：千円)

区分	会計名	H22末 残高	H23末 残高	増減
普通	一般会計	12,412,653	12,436,383	23,730
	有線放送事業特別会計	17,600	0	△ 17,600
	計	12,430,253	12,436,383	6,130
法適	水道事業会計	3,108,439	3,178,904	70,465
法非 適	農業集落排水事業特別会計	1,585,329	1,514,835	△ 70,494
	下水道事業特別会計	9,949,879	9,545,176	△ 404,703
	合併処理浄化槽事業特別会計	38,800	38,241	△ 559
	計	11,574,008	11,098,252	△ 475,756
事業	介護保険事業特別会計サービス事業勘定	16,423	8,390	△ 8,033
	計	16,423	8,390	△ 8,033
	合計	27,129,123	26,721,929	△ 407,194

9月定例会に提出された議案等

◆ 報告事項

- 平成23年度潟上市健全化判断比率
- 平成23年度潟上市公営企業資金不足比率

◆ 報告事項

承認

- 専決処分報告について（潟上市立保育所を北海道奥尻郡奥尻町が保育を実施する児童に使用させることに関する協議）

◆ 条例の改正

全案可決

- 昭和老人憩いの家設置条例を廃止する条例
- 防災会議条例の一部を改正する条例
- 住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部を改正する条例

◆ 未処分利益剰余金の処分

原案可決

- 平成23年度潟上市水道事業会計未処分利益剰余金の処分

◆ 補正予算

全案可決

- 一般会計補正予算（第4号）
- 国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）

- 下水道事業特別会計補正予算（第2号）

◆ 決算の認定

認定

- 一般会計
- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 下水道事業特別会計
- 合併処理浄化槽事業特別会計
- 豊川財産区特別会計
- 下虻川財産区特別会計
- 和田妹川財産区特別会計
- 飯塚財産区特別会計
- 水道事業会計

◆ 陳情

採択

- 小・中学生通学路の安全確保についての要望書

◆ 陳情

趣旨採択

- ガードレール（一部水路）設置について

◆ 陳情

継続審査

- （産業建設常任委員会）

- 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について

◆ 陳情

審議未了

- 「社会保障と税の一体改革」の中止を求める陳情書

第3回

議会報告会

(5月26日・27日開催)

会場で寄せられました意見・提言などについて
市当局より回答がありました。

防災無線について

声 午後5時の防災無線放送は、春夏秋冬で内容を変えるべきではないか。

答 午後5時の定時放送につきましては、防災行政無線の有事の際の運用と、市民歌に親しんでもらうことも目的のひとつとして放送しているところであり、今後も継続していきたいと考えております。

声 防災無線が聞き取れない(川向地区)。防災訓練のときに、性能を確かめるべきだ。

答 防災無線は日頃の定時放送及び行政放送時の難聴に対して調査を行い、難聴地域の屋外拡声子局スピー

カーの方向調整を実施し難聴地域の解消に努めております。スピーカー調整で解消できなかった昭和川向地区及び下谷地地区については屋外拡声子局増設工事を発注しております。

声 緊急時にはサイレンを鳴らすことが効果的ではないか。

答 大規模な地震発生時や大津波警報が発令された場合、また、武力攻撃事態などが発生した場合の緊急時には、サイレンが鳴るシステムになっております。

防災対策について

声 大雨のときに排水があふれて床

下浸水したり、日常生活に支障をきたしている。排水機場を設置してもらいたい(一向地区)。

答 浸水の原因は、船越水道に排出される排水口から海水が逆流するもので、現在、2ヶ所のゲートから船越水道に排出されております。

しかし、排水口及び排水路の設置から30年が経過し、宅地化の進行や道路舗装率の向上、更には一般家庭の庭先舗装の増加などで排水路への雨水流量や流下時間が、設計当時とかなりかけはなれている可能性があります。

まず、現在の設計条件に基づいて調査し、結果がまとまり次第、計画を実施してまいりたいと考えております。

市議会では市民の皆さんに開かれた議会を目指して議会報告会を開催しました。出席者は、天王地区は4ヶ所(天王ことぶき荘13人、追分西北ことぶき荘15人、二田ことぶき荘17人、出戸新町ことぶき荘3人)、昭和地区は(昭和公民館7人)、飯田川地区は(飯田川公民館2人)でした。議会では出席者のアンケートをもとに来年度の実施に向けて協議をすすめています。

声 津波がきたら、それぞれの町内はどこに避難したらいいのか、具体的に避難場所を示すべきでは。

答 今年、3月に配布いたしました



避難場所表示板

津波ハザードマップに津波避難場所を記載しております。また市民が確認できるように標高を提示した津波避難場所看板を設置いたしました。

今年配布した津波ハザードマップは暫定版であることから、今後秋田県より地震発生被害想定や津波による浸水が予測される区域が発表された後、見直して再作成し配布いたします。

新庁舎建設について

声 潟上市は高い避難ビルもなく、避難所のキャパシティも十分ではない。そこで提案ですが、新庁舎には、災害時における避難ビルの要素を加えるなど、庁舎機能を高める方策を考えていただきたい。

答 地震や津波等の災害時にも新庁舎は災害対策拠点となり「コントロールタワー」としての役割を果たすことができる建物としております。更には、ご指摘にありますように避難ビルの要素、具体的には市民等が避難できるスペースの確保を加えるなど、基本設計を進めてまいります。

声 新庁舎は、防災機能を高め、さらに防災機器も備え、潟上市が全県のモデル地区になるようにしたい。

答 前段のご提言と重複する内容と思いますが、災害発生時に市民ホールや会議室を避難場所とする場合に、必要な機器を稼働させることができる「非常用電源」の導入等、防災機材の配備も含め庁内並びに関係機関と連絡調整を図り防災機能を高めてまいります。

道路関係について

声 大久保（大豊）小学校線道路の整備と踏切は、現在の計画では山神地区は行き止まり、袋小路になるようだが、この改善策を検討してほしい。

答 道路の整備については現在進めております。大久保踏切の改修計画に際しましては、様々な立場の市民の方々からご意見ご要望を伺っております。本要望に限らず、その他の意見にも応えられるようにJR、県などの関係機関と協議を進めているところです。

声 飯田川（下虻川）地区から羽城中学校までの通学路の整備を進めてほしい。

答 ご指摘の通学路については県道男鹿昭和飯田川線となります。歩道部分が狭くガードレールがない部分については、県に対して拡幅整備を要望してまいります。

また、飯塚方面から通学する生徒については、和田妹川の三叉路から下虻川地内を自転車を通る際に、道路の右側を通行している現状が見受けられることから、教育委員会では、今後、道路の左側を通行するように



県道 男鹿昭和飯田川線

交通安全指導を徹底するとともに、通学路に指定し当該地域の生徒及び保護者への指導啓発を行います。

声 道路の側溝の蓋上げをする場合、重くて高齢者には大変である。もっと軽いものにできないか。

答 道路側溝の蓋については、現在使用しているコンクリート製と比較し、耐久性、経済性において優れている軽量の蓋はありませんので、現状では軽いものにするには困難です。

なお、市では軽い力で蓋を上げられる蓋上げ機を準備しておりますのでご利用ください。ご利用の際は都市建設課までご連絡お願いします。

声 秋田西高から五洋電子に通じる市道は小学生の通学路になっているが、側溝に蓋がなく、大変危険である。旧町時代から要望しているが、そのままである。早急に対応していただきたい。

答 先般、警察・小学校及びPTA・道路管理者・教育委員会において「通学路における緊急合同点検」を実施し、現在、その点検結果をとりまとめるところです。今後、

点検結果を受けまして改良整備を検討してまいります。



西高入口～ポリテクセンター間の市道

声 二田地区の道路（洗車場から天王縫製に向かう市道）にガードレールを設置していただきたい。（市及び議会へ要望書提出済）

答 7月から8月にかけて警察・小学校及びPTA・道路管理者・教育委員会において「通学路における緊急合同点検」が行われており、その内容を要望等と照らし合わせながら、道路及び排水路の安全対策を考えてまいります。

その他

声 追分自治会館に隣接して、児童公園を含む公園を周辺の道路整備と合わせ、計画的に整備していただきたい。

答 追分地区には、現在旧追分乳児保育所の隣地に都市計画決定された追分街区公園（旧称児童公園）面積0・40haがあります。

都市計画法の運用指針に定めるところでは街区公園の規模は0・25haを標準とするとされており、施設規模としては現在の面積で十分と捉えております。

周辺道路の整備につきましては、追分自治会館の利便性を図るため、ゴミ集積所付近からも駐車場等に入る出入口を検討しております。

声 追分西北ことぶき荘の隣の土地を町内会で借り受け、駐車場として使用しているが、冬は雪捨て場としても使用している。これらのことから防災対策の面からも活用できるように市で買収をしていただきたい。

答 ことぶき荘の後方にゲートポール場がありました。平成23年に町内会の要望により縁石を撤去した上

で駐車場として整備しています。面積は約680㎡あり、駐車スペースとして約30台位は駐車できます。現時点では市で買収する計画はありません。



追分西北ことぶき荘隣地

声 出戸認定こども園の整備により、出戸小学校の駐車場がなくなつた。確保すべきだ。

答 ご指摘の駐車場については、小学校とこども園の職員と来客用を含め、従前より広く駐車スペースが整備されており。

収容台数としては、旧来は40台ほどでありましたが、整備後の駐車場は62台の収容が可能となっております。なお、こども園前は、行事等の

際にはフェンス内にも駐車できるようになっております。

声 出戸、追分地区の中心的な公共拠点（公民館など）がゼロである。計画してほしい。

答 出戸、追分地区の中心的公共施設として、追分地区には憩いの場、スポーツ・レクリエーション等の余暇活動を行う場としての勤労青少年ホームがあります。

また、出戸地区にはコミュニティ推進活動の拠点となる出戸地区コミュニティセンターの公共拠点施設があります。

このように両地区に公共施設があることから、当面の間現施設の活用をお願いします。

声 古い集会所は早く直してほしい（飯田川地区）。

答 ご要望にありますとおり飯田川地区の集会所施設は老朽化が著しい施設もあり、整備・改修が必要なものは、市の財政状況等を考慮しながら進めていきたいと考えております。

議会ホームページにも掲載しています。

次期市長選挙について



児玉 春雄
議員

石川市長の 出馬表明について

質問 石川市長は、対話とふれあいの中でまちづくりの種を蒔き、潟上市としての進むべき道を切り拓いてきました。公約に掲げました天王グリーンランドの地域再生事業や都市整備事業、子育て支援等に着実な成果を見て今日に至っています。その行政運営は、実に堅実かつ実直で、高く評価されるものです。

合併から8年。石川市政にして、今なお未達成となっているのが、新庁舎建設です。この新庁舎建設は、合併時最大の約束事であり、合併協議会の会長であった石川市長の責務です。次期市長選挙に是非とも出馬表明されるよう念願するものであり、その考えを聞かせて下さい。

答弁 (市長) 私は、新生潟上市の初代市長として合併時から、2期目を経て今日に至るまで、誠心誠意、潟上市のまちづくりに取り組んでまいりました。

厳しい行財政環境の中で、合併協議の多くに解決を見たものの、今まだ解決に至らないもの、その最たるものが新庁舎建設です。次期市長選挙に対して、多くの市民の方々から再度の出馬を勧められることがたびたびあります

が、その都度「ありがたくも熟慮中」としてきています。今後、ますます自治体運営が厳しさを増す中で、任期があります期間、これまでも増して誠心誠意、渾身の努力をすること、この一点に尽きるとの思いであります。いずれ支持者の方々に相談し、進退を明確にしたいと思っております。

質問 石川市長をおいて次期市長になれる人材はいないと思っております。

答弁 (市長) 大変ありがたい言葉です。出馬するか、しないかの決意表明を一日でも早くしたいと思っております。



潟上市役所天王庁舎

質問 「出馬する」と、今一度、答弁を願います。

答弁 (市長) 出馬する、しないも含めて、前向きに検討したいと思っております。

本市の財政運営について

質問 本市の財政運営は好転していると思うが、その原因、運営の基本は。

答弁 (総務部長) 本市の財政力指数は0.34程度で財政基盤は脆弱です。経常収支比率は平成23年度は89.1%、5年前から6.2ポイント改善され、施策選択の幅が広がった。主な原因は交付税

国庫補助金が交付金に 変わったことについて

質問 国庫補助金が地方主催の趣旨から交付金化したことが、本市の場合。市発展計画(基本計画)の関わりで議会に協議する必要はないか。補助率は。

答弁 (副市長) 社会資本整備総合交付金は国土交通省所管の自治体向け補助金を交付金化し原則一

豊川地区 活性化対策は



佐々木嘉一
議員

質問 旧豊川小学校の敷地面積は。 **答弁** (部長待遇企画政策課長) 敷地面積は約7,900㎡、グラウンド10,000㎡です。

質問 多目的集会施設の建設位置は。 **答弁** (部長待遇企画政策課長) 物建設や外構工事の規模を定める基本構想で検討します。グラウンドは表面排水を整備し活用します。

質問 新施設とコミュニティ・ホームの関係は、所管は。 **答弁** (市長) 基本的には財産区に対し一切の財政負担は求められていません。



解体される旧豊川小学校

の増額です。実質公債比率は平成23年度は12.8%と大きく改善されました。主な原因は起債の繰上償還や債務負担行為の完済、上下水道料金の統一による特別会計への繰出金の縮減、行政改革との関連等々、広範な効率運営に努めています。

括交付金化して交付する方向に改められました。本市の場合下水道、道路の年度別交付金額は従来の5ヶ年事業費を基に提案しており、後期基本計画を変更していません。具体的には予算審議の際説明します。補助率は本市の財政力により60%です。



西村 武
議員

質問 道路橋長寿命化対策は、国の方針で社会資本の状態を定期的に点検するようにとの指示で、本市も点検した結果について伺います。 **答弁** (産業建設部長) 市が管理する道路橋の数は平成24年8月現在で164橋となっています。

質問 自治体が管理する道路橋の数は。 **答弁** (産業建設部長) 国土交通省の点検要領に基づき、2力年にわたり点検を実施した結果、緊急に補修が必要とされる橋梁はあり

質問 異常が発生した場合の対応策は。 **答弁** (産業建設部長) 修繕計画は5年を目処に見直すこととされていますが、修繕計画にとらわれないことなく、専門的な点検業務を行い修繕等を実施していきます。

児童生徒の通学路 確保と点検について

質問 毎年のように集団登校の列に車が突っ込み子供たちが犠牲となり、痛ましい事故が他府県で発生しています。本市も集団登校を行っており、ほとんど車道と歩道の併用であり、児童生徒を交通事故から守る意味から次の2点について伺います。



集団登校

ているか。 **答弁** (教育部長) 通学路の点検については、教職員及び各校に配置している安全サポーターが定期的に歩いて確認を行っています。

質問 通学路確保の考え方は。 **答弁** (教育部長) 通学路を指定するに当り、出来るだけ歩車道の区別がある、交通量が少ない等の条件を勘案し、児童生徒の安全確保を図るようにしています。

本市児童生徒の いじめ対策について

質問 滋賀県大津市の中学2年生男子生徒がいじめを苦に自殺したと見られる問題について連日のように新聞、テレビ等で報道され、他府県のことですが、本市児童生徒のいじめ未然防止と早期発見の対応について次の2点で伺います。いじめの兆候が見られる子供の対応は。

答弁 (教育長) いじめはどの学校でも起こり得る、という基本認識のもと早期発見のため、定期的なアンケート調査や児童生徒との面談を実施しています。

質問 人権の尊重、命の大切さを学ぶ教育の実施は。 **答弁** (教育長) 道徳の時間、授業等で生命や人権を大切にすることの指導の充実など改善に努めています。

質問 生活環境の整備点検について

生活環境の整備点検について

結果的に異常が認められた数は。

通学路として利用している道路の点検、標識等の確認は毎年行っ

「農地利用集積円滑化事業」について



佐藤 昇 議員

質問 農業の高齢化、後継者不足、農地の耕作放棄地の増加など課題が山積している本市は、新規就農者支援対策など諸施策を実施しています。しかし高齢化の進行が早く、離農状態を余儀なくされ、危険信号が点滅されている現況下です。

回答 過日、JA秋田みなみ総代会において事業が承認されました。主な事業は①農地所有者代理事業、②農地売買等事業で、行政当局、農業委員会とは密接な関係がなされ



収穫の秋

れると思いますが、これに対する取り組みは。

回答 (産業建設部長) この事業は、出し手農家が自ら契約相手を探す必要はなく、また受け手農家と個別に交渉する必要がないた

脱原発と潟上市の省エネ対策について

め、効率的にまとまった農地を引き受けることができるメリットがあります。農家と身近な関係にあるJA秋田みなみが農地利用集積円滑化団体として最適だと期待しています。事業の推進にあたっては、関係機関と連携を図っていきたくと考えています。JA湖東は今、検討中との事で、この事業推進を期待しています。

質問 東日本大震災による原発事故は二度とあってはならない。脱原発に賛同する一人である市長の所見は。潟上市に大規模太陽光発電所が設置されるとの事、成功を祈っています。本市に何がメリッ

トになるのか伺います。安心・安全・安定的な電力供給と節電と省エネ対策が肝要であるその対策は。

回答 (市長) 原子力政策は国の政策によるため市長としての答弁は差し控えたいと存じますが、原子力に依存しない安全なエネルギーへの転換を図ることが可能であれば佐藤議員と同様に早急に実現していただきたいと考えています。

昭和・天王認定こども園の建設は

質問 潟上市幼保一体化施設基本計画(認定こども園)を設定しています。

この基本計画に、中期計画として、昭和認定こども園(昭和中央・昭和東・昭和西)、後期計画に天王認定こども園(二田・湖岸

庁舎設計について

質問 プロポーザル(提案書)「落札者決定基準」と選定した(有)村田弘建築設計事務所の評価の主たるものは何ですか。

回答 (部長待遇企画政策課長) 潟上市プロポーザル実施要綱に基

J R 大久保駅改築事業について



藤原 幸作 議員

質問 モータリゼーション時代にあっても駅は、まちの玄関、顔です。東西通路を結ぶ大久保駅改築、

駐車場などの周辺環境をどのように考えていますか。

回答 (市長) 大久保駅環境整備は、新市建設計画、総合発展計画基本計画に盛り込まれています。大久保駅は奥羽本線の市の玄関口であり、駅舎改築などの周辺環境整備によって、駅前周辺の商業地、駅西側の医療、介護施設への利便性が向上し、地域の活性化が図られます。



J R 大久保駅

2保育園・天王幼稚園)の建設計画はどのようになりますか。

回答 (教育長) 認定こども園については、園児数の減少や施設の老朽化なども視野に入れ、今後の動向を踏まえながら検討します。

回答 (市長) 合併特例債が延長されたことよって認定こども園も影響を受けます。今はつきり言って、ここで延ばすか延ばさないか即答はできません。この後、教

育委員会等々と検討します。

づき、潟上市新庁舎基本設計業務プロポーザル実施要領を定め、その評価基準で審査しました。潟上市新庁舎基本設計業務プロポーザル審査委員会の評価において、内部空間の考え方やライフサイクルコスト、風土、文化に関する事、分析力、提案力、対話力等を総合的に評価されたものです。

備えよう 防災は万全に



佐藤 義久 議員

質問 酒田市の危機管理室に訪ね、研修の成果は、津波の高さ9メートルと推定した防災計画をする。防災無線の高さが20メートルと伺いました。当市のいまだ聞こえない防災無線の総合点検はお済みですか。また今後の計画については。

回答 (市民生活部長) 潟上市の防災無線は高さが15メートルです。本年度、難聴解消対策として、昭和地区の川向及び下谷地区に増設します。屋外拡声子局は音の

達成実験を実施、設置位置を決定して進めます。

再質問 防災無線検証中とも、増設を考えているとお話でしたが、例えば私の近くですが、四季の街、宮ノ前、阿弥陀堂、山神の団地のところに1カ所と、駅前の消防施設の前にあるが、何をしゃべっているかわかりません。ピンポンパンだけは聞こえます。再検証したらいかがでしょうか。

回答 (市民生活部長) もしそのようなことだとすれば、もう一度調査したい。

佐渡町内を下水道区域に変更して

質問 馬踏川の水質環境浄化の一

翼をも担い、地域要望にも応えてはかがか。

回答 (水道局長) 佐渡地区は、岩瀬地内の最も近いマンホールポンプまで下水道本管を布設、工事費として概算で約3,700万程度が必要になる。秋田市にお願いするとすれば、両市の議会の議決が必要となる。また、国・県の事業認可変更、補助金の返還、受益者負担金の秋田市の支払いが必要になること、区域を変更する予定はありません。

再質問 岩瀬地区の水道管を秋田市へ売却した2億円があり予算措置は市長の心の問題でやる気があればできませんか。

回答 (市長) 市長の心の問題で何でもできると。これは大間違い



下水道工事完成現場 (秋田市)

です。局長が答弁したとおり、国・県の補助金をいたたいている。返還しなきゃならない、3千何百万かかる、いろいろな諸手続きを経て、それがマスターできれば心の問題だろうけれども、はじめから心の問題としてできませんよ。心の問題は大事ですけれども、すべてではないということです。

生活保護行政について



藤原 典男
議員

質問 生活保護は生活に困ったとき最低生活の保障を請求できる権利で、保護申請の意思があった場合、申請する権利を保障しなければならぬが、対応及び保護申請における親族の扶養義務については。

答弁 (福祉保健部長) 福祉事務所への相談、保護申請があった際は保護のしおりに基づいて生活保護の申すについて丁寧に説明を行っています。相談者の申請権を侵害せず、申請意思が表明された場合には申請書を交付しています。親族の扶養義務は民法により定め

られており調査を行っています。本市での援助者は2%程度です。

にしています。人間ドックは今年度は日帰り、1泊とも5人ずつ枠を拡大しました。引き続き受診しやすい環境作りに努めていきます。

制度、子供医療費の小学卒業まで無料化など市民生活の改善を行ってきましたが、「潟上市で利用できる便利な制度」の小冊子製作も必要ではないか。また、今後改善予定の条例、要綱等は。

質問 年々、市民の健康に対する意識は向上し集団検診を受ける方も増加してきているが、健診結果が治療を早急に行わなければならない方への対応は。また人間ドックの補助人数拡大への見解は。

答弁 (福祉保健部長) 治療を早急に行わなければならない場合、ガンとか検診の数値が正常範囲を異常に超えている場合はすぐ保健師が訪問し受診を呼びかけています。生活指導を要する方にも改善の低い人から訪問や電話、家族との面談で本人と接点が取れるよう



集団検診の受付

市民生活と改善された制度について

質問 合併して8年目となりまして。この間、住みリフォーム補助

が、距離的に遠く、即応性のある対応ができる場面が少ないと思いますが、心の通う提携も含め検討してまいります。事務方で詰めてトップ会談となりますが、都城市長とお会いして考えたいと思います。お互いの協定は別にして友好関係を結ぶ事業について着々と進めてまいります。



藤原 幸雄
議員

質問 来春の3期目の市長選に出馬のご意志があるのか。前回は無投票当選に輝きましたが、今日まで市民との対話を怠ることなく、行政運

醸成、2期目は潟上市民であることを誇れるまちづくりに主眼を置いて各種事業を展開してきました。潟上市誕生に責任を有する者の一人として合併後における課題解決とまちづくりに鋭意取り組んできましたが、合併時における課題を解決したものの、今でも解決に至らないもの、本市にも例外なく訪れた人口減少と少子高齢化、主権改革の進展、景気低迷などに間断なく対処し、市政の発展に努

について。
答弁 (市長) 都城市は昨年、食菜館くらのオープンをきっかけに、更に交流が深まり、昨年5月には「みやこんじょ復興祭り」に招かれて郷土の芸能、新関ささらの披露、都城市から今年1月の「山田のかかし」一行が訪れる等、交流の輪や絆は目覚ましいものがありました。郷土の偉人石川理紀之助翁のご縁で結ばれたもので

が、距離的に遠く、即応性のある対応ができる場面が少ないと思いますが、心の通う提携も含め検討してまいります。事務方で詰めてトップ会談となりますが、都城市長とお会いして考えたいと思います。お互いの協定は別にして友好関係を結ぶ事業について着々と進めてまいります。

市長の政治姿勢について

営を基本とし、活気あふれるまちづくりに取り組んで、地域再生や行政改革への取り組み等も課題の多いことも実感しています。
新庁舎建設は道半ばですが、再出馬で市民の希望に応えることを切望するが。

質問 再出馬前提の主な施策は。
答弁 (市長) しばらくお時間を貸して下さい。

石川翁が都城市旧山田町を訪れた6ヶ月の滞在期間の中で農事指導や早寝早起きなど、生活規律、住民の指導に励み、地域の農業振興に尽力されたのがご縁で、現在は遠い距離を心でつなぐ、お互いに特産品等、産地間交流が行われています。地震、風水害等の大規模な災害が発生した場合、備蓄物資の提供や、職員の派遣等を実施し助け合うため、災害時相互応援協定を結ぶことも考えられます



山田のかかし笑劇団のみなさん

してヘリポート設置の可否について検討します。



菅原理恵子
議員

ヘリポート設置について

質問 階層は内閣府が示している構造的要件を総合的に判断して4階建てとした事はとても重要。屋上にヘリポート設置の考えは。

答弁 (部長待遇企画政策課長) 津波災害時に新庁舎屋上が避難場所となり得るよう考えているところ。庁舎が長い時間孤立した場合を想定すると新庁舎屋上へのヘリポート設置の必要性は増してきていると思えます。有事の際を考慮

動線(道路網)について



ドクターヘリ

質問 避難所となり得る新庁舎へ移動するとき、一刻も早く避難するために、道路網を増やす考えは。

答弁 (部長待遇企画政策課長) 将来的には、市道追分下出戸線から県道秋田天王線へ抜ける都市計画による道路計画があります。新庁舎の配置計画が決定後、基本設計、実施設計の段階で検討します。

いじめについて

質問 いじめの有無と対策は。
答弁 (教育長) 11件の事例を把握しています。定期的なアンケートや児童生徒との面談を実施。いじめは許さないと毅然と対応し、解決とみられる場合でも継続指導します。

オンブズパーソン制度について

質問 一人一人の子供の権利を尊重、確保を目的とする制度を取り入れてみては。
答弁 (教育長) 児童が学校で担当以外にも気軽に悩み等を相談できる仕組みとして、子供と親の相談員、心の教室相談員を配置し対応に当たっています。国の対応策に沿っていきたくないので、制度については考えていません。

スクールカウンセラーについて

質問 多感な思春期、カウンセラ

新庁舎建設について

総務文教

市はどう答えたか

委員長 藤原 幸雄
副委員長 児玉 春雄
委員 藤原 幸作
委員 菅原理恵子
委員 戸田 俊樹
委員 堀井 克見
委員 佐々木嘉一

●一般会計補正予算 (第4号)

問 議会基本条例策定に係る補正予算について。

答 特別委員会で講師謝礼、行政視察等109万4千円の必要経費を補正計上したものです。

問 旧豊川小学校の解体工事請負費について。

答 校舎2, 875・6㎡、プールは182㎡で坪単価は7万5千円で3社の見積もりを徴収し最も低い金額を計上しました。追分乳児保育園は12万5千円でした。

新庁舎建設についての 質疑

問 庁舎建設市民委員会の構成と目的は。

答 委員数は15人以内とし3回程の会合で市民の意見を基本設計に反映させます。基本設計案、平面図案等をまず議会へ説明しその後市民委員会を開催します。

問 3階建てから4階建て

とした基本設計を進める理由は何故か。

答 階層は内閣府が示す「津波避難ビル等に係るガイドライン」の構造的要件を踏まえ、避難ビルとしての活用など防災の観点等総合的に判断し基本設計を進めています。

問 プロポーザルによる基本設計業者の選定は。

答 新庁舎基本設計業務プロポーザル審査委員会に於いて「(有)村田弘建築設計事務所」を契約候補者として選定し、その後委託契約を締結しました。これから基本設計に専門的意見を入れながら具体的なものを作り、この後は情報公開をしながら進めて行きます。

問 国民文化祭の全国写真フェスティバルと石川理紀之助翁との関連について。

答 平成26年度に秋田県で開催される第29回国民文化祭について17人で実行委員会を立ち上げ水中写真家・中村征夫氏に総合的プロデュースを依頼し、聖農・石

川理紀之助翁の教えを写真と絡めて展示を検討中です。

●一般会計歳入歳出 決算の認定

問 市税不納欠損額636万5千円の内訳は。

答 5年の時効で欠損分が約500万円、執行停止後3年で欠損した額が残ります。

問 普通交付税の増えた要因は。

答 臨時財政対策債が減ったことに伴い、基準財政需

要額が3億6,044万1千円増えました。平成22年の緊急総合経済対策の事業は財源の確保が出来、事業者への経済効果が大きかったです。

問 八郎潟ハイツの工事費の内容と成果は。又、今後のあり方についての方向づけは。

答 設備の不良箇所の改修で、集客数の増えた成果はありません。今後については、平成25年度中に関係機関と協議の上どうするか検討します。



八郎潟ハイツ

Q&A

社会厚生

市はどう答えたか

委員長 小林 悟
副委員長 中川 光博
委員 大谷 貞廣
委員 伊藤 栄悦
委員 西村 武
委員 千田 正英

●一般会計補正予算
(第4号)

昭和衛生センターを廃止し、し尿を男鹿地区衛生センターへ搬入することに伴う、旧船越漁協へ支払う統合への同意の条件である350万円の協力金についての質疑

問 旧船越漁協へ支払う協力金を男鹿市から負担を求められていることについての関係は。

答 し尿の男鹿地区衛生センターへの統合は潟上市からの要請ですので、男鹿市の行政区域であることから旧船越漁協へは男鹿市が支払い、その分を男鹿市から求められているものです。

問 東日本大震災を踏まえ、男鹿地区衛生センターが津波に耐えられるかという防災上の観点から考えた場合、昭和衛生センターの活用という防災上の検討が必要だと思うが。

答 25年4月の統合と災害



昭和衛生センター

対策は別の問題として進めるべきだと考えています。災害対策については男鹿地区衛生一部事務組合が主体となります。秋田県より12月に津波浸水地域が公表された後、潟上市・男鹿市・一部事務組合と協議していくこととなります。

問 昭和衛生センターの社員の雇用と杉山病院からのし尿搬入についてはどうしますか。

答 雇用は管理を受託した会社側で考慮することです。杉山病院からの搬入については、上下水道課と協議を進めているところです。

●一般会計歳入歳出決算の認定

健康推進に関するがん検診についての質疑

問 がん検診の結果および効果等についてどうなっていますか。

答 胃がん検診では、1,540人が受診し164人

に精密検査が必要になりました。2人ががんが発見され、74人に胃潰瘍や胃炎等の病気が見つかりました。市では、がんの死亡が死因の第1位を占めていることから過去3年間でがん死亡した人の受診状況を調べました。その結果、ほとんどの人が検診を受けていませんでした。がん検診を受けている人は早期発見により延命しています。このことから未受診者対策に力を入れることが大切だと考えています。

問 がん発見のために、血液検査で全身のがんを発見できる検査があると思う。現状では個人で受診することになると思うが、今後の取り組みは。

答 全身のペット検査は一人あたり10万円かかります。現在、集団検診では前立腺がん検診を血液検査で行っています。今後、市民にとって必要なものについては、費用対効果を見極めながら検討してまいります。

産業建設

市はどう答えたか

委員長 藤原 典男
副委員長 鈴木 斌次郎
委員 澤井 昭二郎
委員 菅原 久和
委員 佐藤 義久
委員 岡田 曙
委員 佐藤 昇

●一般会計補正予算 (第4号)

くららの指定管理者の修繕範囲についての質疑

問 くららの修繕について7カ所との説明だが、市と指定管理者の行う修繕費の持ち分は。また、今回の修繕が大規模な修繕にあたるか。昨年

答 くららの修繕については、協定書に金額的な基準は設けておりませんが小破修繕については指定管理者は1千万円(ポイラー)掛っているものもあるほか、毎年のように修繕を行っている。また、今回の修繕は補正で行うべきものなのか。7カ所も直すのであれば、当初で計上すべきではないか。



天王温泉くらら

ガードレール(一部水路)設置の陳情についての委員の意見

趣旨採択・採択に意見が分かれる

問 昨年年度途中で補正。くららサイドでは、市に相

談すればどうにかなると思っているのではないか。昨年度も約1千万円をかけて大規模な補修をしている。今後は。

意見 (採択すべき)

資料の航空写真では、要望箇所に植木なども見られ、歩道の確保ができるのか、要望に沿って最良の方法を模索しながら進めてもらいたい。採択をして速やかに。

意見 (趣旨採択すべき)

このまま願意妥当で採択すると、ガードレールをつけてもらえると解釈される。ガードレールでは大雪が降ったときに除雪で道路が狭くなる。泥上げなど

様々な問題がある。要望はガードレールとなっている。要望書を出した方々は、採択になればガードレールで採択になったと思う。施工するにあたり当局が地域に説明しに行った際に、地域住民からフェンスかガードレールか意見が二分される事態になるのではないか。地域の意見をまとめる余地を残すため趣旨採択がよいのではないか。

総務文教常任委員会

● 鹿児島県霧島市

霧島市の地域まちづくり事業をとおり、行政と自治会の関係、行政の自治会への支援体制のあり方を研修しました。

霧島市の自治組織体制は、自治公民館方式をとっており、自治活動の単位は、本市とは異なっていました。地域まちづくり支援事業は、自分たちの地域を見つめなおし、まちづくりを考え、計画してみるという住民参加の考え方が根底にありました。

現状分析から始まり、まちづくり計画書作成、計画の実現に向けて、行政、地区連携をしてそれぞれ取り組んでいくもので、地域の特性を生かしたユニークな事業に補助をしています。しかし市で計画している全ての計画に「地域のことは地域で」という「自治」の切り口でほとんど入ってきたとき、どこで整合性をとるのか。「市」「自治」で行うべきことの整理が明確でなかったように感じました。

● 宮崎県都城市の地場産業の育成と振興策

新商品の開発支援、後継者育成事業等7事業を市で行っていました。雇用対策としては就職説明会などを開催し、産産相互の連携としては、力のある業種、企業の育成と産、学、官の連携を図っていました。

また、地場産業振興センター設置の目的、効果は、都城圏地場産業の総合的な発展を図るため、宮崎県、都城市、三股町及び関係業界が一体となって建設したもので、第三セクターが運営。市では、センターが地域経済活性化の中核施設として十分な機能を発揮するよう、地場産品の紹介、需要開拓、新製品開発、人材育成などの事業に補助をしていました。

社会厚生常任委員会

● 静岡県賀茂郡東伊豆町

① 風力発電事業について

地球温暖化防止並びにエネルギー問題に対応するため、積極的にクリーンエネルギーを導入し、環境保全及び観光とタイアップした産業の活性化に取り組んでいます。

現在、町では「クリーンな新エネルギーの導入か、自然環境・生態系の維持、騒音・低周波公害から守れるか。」行政と事業者（増設計画）側と風車問題を考える住民の会が対立している状況にあります。

● 静岡県沼津市

① 自主防災組織育成について

運営に関する経費に対して補助及び資機材の整備に要する経費の補助については、自主防災組織に世帯当たり130円の補助金、防災活動を積極的に推進するため、資機材の整備に自主防災組織及び連合自主防災組織のそれぞれの交付要綱を定め補助金を交付しています。

また、平成23年度は年間86回の研修を行っています。

② 津波避難タワーについて

津波の発生に対して、許される時間の中で、被害を減らす最も効果的な方法は、高台への避難ですが、そのための対策として人工高台確保のための施設として、津波避難タワー・マウン・ト・避難階段などを整備しています。

● 静岡県富士宮市

① 福祉総合相談事業について

平成20年度において組織の再編を行い、ワンストップサービスの拠点として福祉総合相談課を新設し、地域支援係、保護係及び福祉相談支援係の組織体系で、福祉相談支援係には地域包括支援センター、家庭児童相談室をはじめとする福祉関係の相談窓口の一元化を図っています。

② 認知症見守りネットワークについて

現在237人のキャラバンメイトと約7,800人の認知症サポーターが誕生しています。

産業建設常任委員会

● 宮崎県西都市

① 農業振興プログラムについて

農業振興のための事業概要は農業後継者育成対策、野菜生産振興、さいとふるさと産業祭り、認定農業者育成支援、さいと物産館フェア、果樹生産振興対策等の各事業がありました。人口は本市とほぼ同じですが、認定農家数、1戸あたりの農家平均収入でも本市の約4倍近い950万円であり、市やJA、認定農業者の組織が一体となった取り組みがありました。

② 商工業振興プログラムについて

中心市街地活性化対策、商工会・商工会議所支援、商店街等振興など各事業で構成され、厳しい経営環境に対応するため次代を担うリーダーや後継者を育成し各商店街の条件を生かした取り組みが行われていました。

③ 都市再生整備改革の取り組みについて

全国でも有数の古墳群のある地を宣伝し観光客をどう商店街に誘客するのか、公園や道路整備の取り組みの経過を視察しました。

● 宮崎県都城市

① 地場産業の振興施策について

新商品の開発支援、後継者育成、伝統的工芸人産業振興、販路開拓支援、物産展開催支援、商談会支援などを行っており、特に地場産品が数多くある中で更に開発を進め各商品の売り上げもある点は見習いたい。

② 地場産業振興センター設置の目的と効果

37業種、396社に及ぶ地場産業の統合的発展を図るために第3セクターで運営。

③ 都城市と石川理紀之助翁の業績

市編纂本「都城の歴史と人物」で紹介され旧山田町の子供には読み聞かせ、地元の演劇集団が石川翁の功績と師の心を後世に伝えている活動を行っています。

9月定例会各議員の 賛否一覧(全会一致を除く)

陳情第6号の二田栄町町内会より提出された「ガードレール(一部水路)設置について」は産業建設常任委員会での「趣旨採択」の報告を受け本会議では「趣旨採択すべき」かの採決を行いました。

(○は趣旨採択に賛成、×は趣旨採択に反対(=陳情に反対ではなく、「採択すべき」の意思表示も含まれます。))

なお、趣旨採択は陳情書の一部に実現可能か検討の余地があるものの、趣旨は理解できる、という意味です。

会派名	議案等		ガードレール(一部水路)設置について
	氏名		
政友平成会	大谷 貞 廣		○
	児玉 春 雄		○
	佐藤 昇		○
	澤井 昭二郎		○
	藤原 幸 作		○
政 和 会	堀井 克 見		×
	岡田 曙		×
	西村 武		×
	藤原 幸 雄		○
潟上21改革クラブ	鈴木 斌次郎		×
	小林 悟		×
	伊藤 栄 悦		×
	佐々木 嘉 一		○
潟上21振興クラブ	戸田 俊 樹		○
	菅原 久 和		×
	中川 光 博		○
会派に属さない	藤原 典 男		○
	菅原 理恵子		×
	佐藤 義 久		○
	千田 正 英		—
結 果			趣旨採択

議会基本条例策定特別委員会の進捗状況

(素案のまとめへ)



平成24年6月定例会で設置された特別委員会は会議を8回、先進地視察研修を1回開催しています。(10月20日現在)

委員会では、はじめに、条例の基本となる事項について12項目をまとめ、それに従い、先進地の条例(栗山町、伊賀市、今金町、奥州市、大仙市)内容を中心に、条文や参考文献の比較検討をしながら、本議会であります。

特に、自治基本条例との関係、最高規範性の考え方については、市の自治基本条例の作成担当者から説明を受け、質疑・意見交換を行っています。これらの内容や、条例制定後の状況等については10月11日、12日には奥州市と蔵王町に先進地研修にかが、助言を受け、質疑・意見交換を行ってきています。

今後、委員会は条例の素案を、委員間で協議しながら、さらに、専門的識見を有する方の助言も得ながら、法的に瑕疵(間違い)のないようにまとめあげていくことにしています。

議会全員協議会報告(10月17日)

広報編集特別委員会

委員長	中川 光博
副委員長	戸田 俊樹
委員	菅原 久和
委員	伊藤 栄悦
委員	佐藤 義久
委員	鈴木 斌次郎

編集後記



9月定例会では、24年度補正予算・23年度決算が可決・認定されました。議会改革への取り組みの第一歩として、市民の皆様が開かれた議会を目標し開催された議会報告会も3回目となります。前2回のアンケートを参考にし、より良い報告会になるようにと企画しましたが、市民の参加者が2、3人の会場が2ヶ所、全体でも前回の半分以下の57人でした。参加者が少なかったのは何故か？

つい数週間前までの記録的な猛暑が嘘のようにすっかり冬を間近に感じるこの頃ですが、皆様体調管理には充分ご注意ください。(菅原久和記)